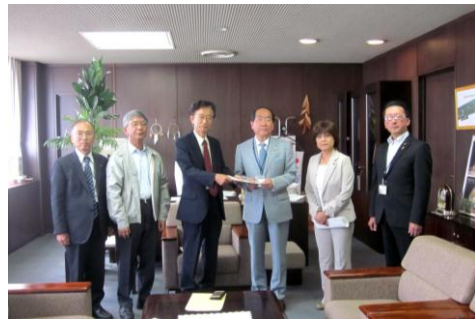


衆議院埼玉13区

並木としえ



街頭で対話する並木としえさん

北関東比例区
塩川哲也北関東比例区
梅村さえ子衆院北関東
比例区で2議席を！市民の切実な願い
「予算要望書」提出

10月22日、日本共産党久喜市委員会と久喜市議団は来年度の予算編成に向け、市民要望を中心とした要望書を田中市長に提出しました。（写真）また、日本共産党衆議院埼玉13区予定候補の並木としえさんと、同14区の苗村みつお氏が同行し、市長と懇談をしました。日本共産党は、予算要望に先立ち、市民にアンケートを実施しました。結果、その7割以上の方が合併前の

新久喜

発行

日本共産党
久喜市委員会
久喜市南4-11-22
Tel 22-2365

「生活が苦しくなった」が7割
「いったい何のための合併だったのか」

り、生活が「苦しくなった」と回答。それは、国保税をはじめ、上下水道料金、農業集落排水使用料、また、介護保険料など公共料金の「軒並み値上げ」が大きく影響しています。合併後の統一を理由にしての住民負担が、国からの住民税などの増税策と相まって市民の暮らしを直撃しているのです。アンケートにも「いったい何のための合併だったのか」という怒



コスモス

「増税ストップ」を訴え駆け巡る

民自公密室談合で強行した消費税大増税。社会保障拡充と財政危機打開のためには、富裕層や大企業などに負担を求め、国民の所得を増やして経済を立て直すなど、消費税増税に頼らない道があります。闘いはこれからです。「国民的な世論と運動を広げ、増税実施を中止させよう」と総選挙目前の地域に街頭宣伝など積極的に取り組んでいます。

9月議会は、2011年度の市政1年間の振り返り検証する議会でした。合併して2年目、しかも東日本大震災の直後が年度のスタートになる、というまさしく「自治体の真価が問われる」年でした。日本共産党市議団は、総務、福祉、建設、文教の4委員会各分野での市民要求を実現する立場から審議に参加しました。

日本共産党 市民要望先送りの決算に反対

①合併時1市3町で過去の借金返済の多くが終了時期を迎え、財源に余裕ができていたが、その有効活用がされな

市議 杉野 おさむ

領土問題を考える



尖閣諸島

最近のマスコミは、連日のように領土問題を利用して安保強化や軍事増強へと国民を駆り立てているように思えてなりません。軍事力を強化しても解決するものではありません。

そもそも尖閣諸島は、1895年、当時の日本政府が編入手続きをとり、その後、古賀辰四郎さんが鯨節の工場を立ち上げるなど実効支配をしていました。

その後75年間も何の異議も唱えていなかった中国は、今になって「あの島は日清戦争によって不当に奪われた島だ」といつてきたのですが、日本が日清戦争で奪ったのは台湾と澎湖諸島であって、尖閣諸島はそこに入っていないのでした。

日本共産党は、解決のために、歴代政府や民主党、自民党などの「領土問題は存在しない」という立場ではなく、堂々と中国や韓国、及び世界に日本の考えを主張すべきと考えています。勿論、過去の「日本軍国主義の侵略」に対する真剣な反省とともに：。